

からこんにちは！

西ノ島の魅力とは

校長 村上 浩一

今年度も残すところ1か月。3学期は一年間の総仕上げと、4月からの新しいスタートに向けた準備のための「フチ挑戦」「フチ改革」をしようとする子ども達に伝えていきます。どの子も、こんな自分になりたいという理想や願いを必ず持っています。しかし、自己の能力を伸ばしたり、自己改革したりするには大きなエネルギーが必要です。失敗を恐れずやってみようとする気持ちや、失敗してもそこから学んで再挑戦する力をつけていきたいものです。そのために、まず子ども達が自分のよさや強みを知ることが大切だと考えています。子ども達の頑張りを褒めて認めること、成長を信じることで、安心して挑戦できる環境を作ることがポイントです。引き続き、子ども達が挑戦しようとするエネルギーをたくさん蓄えられるようご支援ください。

さて、「ふるさと教育」の一環として、中学3年生が12月と1月に、地域貢献の視点で3つのイベ

ントを行いました。本校では、ふるさと教育を義務教育課程の9年間を見とおした計画のもとに進めており、西ノ島の次代を担う人材を育てるために、ふるさと西ノ島をフィールドにして、いろいろな方と関わりながら学習しています。9年間の集大成として、中学3年生は「今までお世話になった西ノ島へ恩返しできることは何か」を考えイベントを企画しました。でも、地域を巻き込んでいくには、子ども達だけでは実現できない壁があります。担当教員は「そんなのムリだ」とは言わずに一緒に悩む日々。そんなとき、子ども達の熱意を感じて、「だったら、こうしてみたら？」「じゃあ一肌ぬいでやつか！」といった「子どものやりたい」に伴走する地域の方々が登場してくれました。

自分たちが熱量を持って考えたことが、賛同する方の支援を得ながら形になり、当日は地域の方の喜んでくださる姿が。きっと子ども達は、9年間のふるさと学習を振り返りながら、「自分たちでも地域を変えることができる」という自己効力感や達成感だけでなく、

西ノ島の人の温かさや懐の深さなどのふるさとの魅力を改めて感じたのではないのでしょうか。教職員も同様です。地域で子どもを育て

小学校

江府町交歓スキー教室(5年生)

5年生は西ノ島の代表として姉妹町である鳥取県江府町との交流をしました。スキー教室では、初めてのことに不安そうにする子もいましたが、何度も挑戦と失敗を繰り返しながら上手に滑ることができるようになり、100点満点の笑顔を見せてくれました。子ども達は挑戦する良さを実感することができたと思います。また、江府学園の5年生との2日間の交流を通して、昨夏の西ノ島での交流よりもさらに仲を深めることができました。本校と江府学園の5年生たちが西ノ島町と江府町の架け橋になってくれればと思います。



▲ 交流を深め、スキーも楽しみました

る町「西ノ島」。保護者・地域の皆さま、ぜひ今後とも学校教育活動へのご理解とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



西ノ島小中学校

中学校

総合的な学習の時間（3年生）

地域活性化をテーマに、12月には「釣り大会」を、1月には「西ノ島の食材を取り入れたラーメン（にしらあ）販売」と「のど自慢大会」を各グループが企画・実施し、大盛況でした。

ご協力・ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。

御礼

1月19日（日）にノアホールで行った「のど自慢大会」に際して、「原交通様」「フラッパー様」「西脇誠様」「じょんじょん様」「安藤本店様」「須藤賢太郎様」よりご厚志をいただきました。子ども達のために、大切にに使わせていただきます。

ご披露にあわせてお礼申し上げます。ありがとうございました。



▲「いらっやいませ」ブリとサザエ、スープが自慢の「にしらあ」です

生徒の感想
（ラーメン販売）

3年 向原 颯太

「にしらあ」販売に向けて長い時間をかけて準備したので「全部売れるかな」と少し心配していましたが、想像を超える盛況で完売することができ、さらに完食してくださった方がほとんどで、とても嬉しかったです。当日僕たちは提供や食券配りなどの仕事を行いました。普段から飲食店で働いている人は凄いと改めて感じました。大変でしたがとても楽しかったです。



▲ 初心者の方も楽しんでもらえました

（釣り大会）

3年 関谷 怜

私は釣り大会の準備から本番を通して、自分たちで行事をするときにはたくさんの方の助けがあって、協力することで完成させることができるのだとわかりました。町のために活動を計画して実行することは今までなかったので貴重な経験ができてよかったです。将来自分で活動を計画する上で、たくさんの方の支えがあるからこそ、その活動を完成させることができるということを忘れないように生かしていきたいです。

（のど自慢大会）

3年 古田 煌大

今回のど自慢大会をやってみて感じたことは、みんなでイベントを考えてそのイベントを実行するまでの準備がとても大変なことだと思います。僕は今回のイベントをするにあたって、もっと簡単に準備から実行までできると思っていたけれど、実際やってみると準備がたくさんあるし、進めていく中でいろいろな課題も生まれ、その度に多くの人に助けってもらわないとできないことがたくさんありました。準備をしっかりやったおかげで本番は成功したので良かったです。



▲ 沢山の出演者と来場者 中学生が大いに盛り上げました